

# 2018年度中間決算説明資料

 第四北越フィナンシャルグループ

 北越銀行

【 目 次 】

I 2018年度中間決算ダイジェスト	—	1
II 2018年度中間決算の概況	—	
1. 損益状況	単・連	7
2. 業務純益	単	8
3. 預金等、貸出金残高	単	9
4. 投資信託・公共債等預かり資産残高	単	9
5. 利鞘	単	9
(1) 全店分	単	9
(2) 国内業務部門分	単	10
6. 有価証券	単	10
(1) 損益	単	10
(2) 有価証券の評価損益	単・連	10
7. 自己資本比率	単・連	12
8. ROE	単	12
III 貸出金等の状況	—	
1. 金融再生法開示債権	単	13
2. リスク管理債権	単・連	14
3. 貸倒引当金の状況	単・連	15
(1) 単体	単	15
(2) 連結	連	15
4. 自己査定状況	単	16
5. 自己査定・保全の状況と開示債権	単	16
6. 業種別貸出状況等	単	17
(1) 業種別貸出金	単	17
(2) 業種別リスク管理債権	単	17
(3) 個人ローン残高	単	17
(4) 中小企業等貸出	単	17
IV 2018年度業績予想	—	
1. 単体	単	18
2. 連結	連	18
V 第四北越フィナンシャルグループ 2行合算・連結業績予想		
1. 損益状況【2行単体単純合算】		19
2. 預金等、貸出金残高【2行単体単純合算】		20
3. 投資信託・公共債等預かり資産残高【2行単体単純合算】		20
4. 有価証券の評価損益【2行単体単純合算】		21
5. 連結業績予想(第四北越フィナンシャルグループ)		21

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 利回り、比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。  
 3. 「II 2018年度中間決算の概況」以下の2017年9月期比、2018年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

## I 2018年度中間決算ダイジェスト

### 1. 損益の状況

- コア業務粗利益は、役務取引等利益及びその他業務利益（除く国債等債券損益）が増加したものの、資金利益が減少したことから、対前年同期比1億円減少の139億円となりました。
- コア業務純益は、コア業務粗利益は減少したものの、経費が減少したことから、前年同水準の30億円となりました。
- 実質業務純益は、コア業務純益は前年同水準となったものの、国債等債券損益が減少したことから、対前年同期比1億円減少の35億円となりました。
- 経常利益は、ネット信用コストが減少したほか、株式等関係損益が増加したものの、その他の臨時損益が減少したことなどから、ほぼ前年同水準の38億円となりました。
- 中間純利益は、法人税等が増加したことから、対前年同期比3億円減少の27億円となりました。

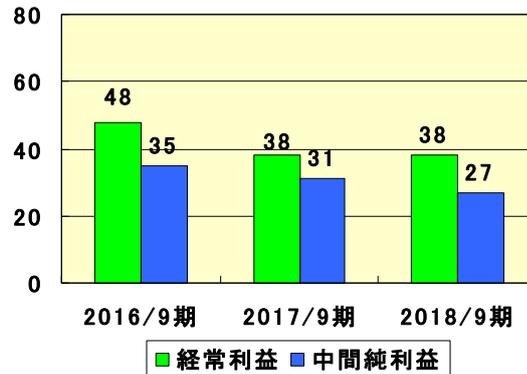
（単位：億円）

	2018年9月期	2017年9月期	増減
業務粗利益	145	147	△ 2
（うちコア業務粗利益）	（ 139 ）	（ 141 ）	（ △ 1 ）
資金利益	120	128	△ 8
役務取引等利益	14	13	0
その他業務利益 （除く国債等債券損益）	（ 5 ）	（ △ 1 ）	（ 6 ）
経費	109	110	△ 1
人件費	60	60	△ 0
物件費	41	41	△ 0
実質業務純益	35	37	△ 1
コア業務純益	30	30	0
一般貸倒引当金繰入額	△ 2	△ 0	△ 1
業務純益	38	37	0
臨時損益	△ 0	0	△ 1
うち不良債権処理額(△)	9	5	4
うち貸倒引当金戻入益	—	—	—
うち償却債権取立益	4	2	2
うち株式等関係損益	6	4	2
経常利益	38	38	△ 0
特別損益	△ 0	△ 0	0
中間純利益	27	31	△ 3

【コア業務粗利益・コア業務純益】



【経常利益・中間純利益】



(1) 業務粗利益、コア業務粗利益

- 業務粗利益は、資金利益の減少を主因に対前年同期比2億円減少の145億円となりました。  
 ○コア業務粗利益は、対前年同期比1億円減少の139億円。  
 ・資金利益は、有価証券利息配当金が7億円減少したことを主因に、対前年同期比8億円減少の120億円となりました。  
 ・役務取引等利益は、法人部門収益や保険販売手数料が増加したことなどから、前年同期比増加し14億円となりました。  
 ・その他業務利益(除く国債等債券損益)は、外為関係収益や金利デリバティブ収益が増加したことなどから、対前年同期比6億円増加の5億円となりました。  
 ・国債等債券損益は、対前年同期比1億円減少の5億円となりました。

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
業務粗利益	145	147	△ 2
(うちコア業務粗利益)	( 139 )	( 141 )	( △ 1 )
資金利益	120	128	△ 8
(うち貸出金利息)	( 85 )	( 87 )	( △ 1 )
(うち有価証券利息配当金)	( 42 )	( 49 )	( △ 7 )
(うち資金調達費用)	( △ 7 )	( △ 8 )	( 1 )
役務取引等利益	14	13	0
その他業務利益	10	4	5
(除く国債等債券損益)	( 5 )	( △ 1 )	( 6 )
(うち国債等債券損益)	( 5 )	( 6 )	( △ 1 )

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益

(2) 経費

- 経費は、対前年同期比1億円減少の109億円。人件費、物件費、税金がそれぞれ減少しました。

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
経費	109	110	△ 1
人件費	60	60	△ 0
物件費	41	41	△ 0
税金	7	7	△ 0

(3) 実質業務純益、コア業務純益

- 実質業務純益は35億円。経費が1億円減少したものの、業務粗利益が2億円減少したことから、対前年同期比1億円の減少となりました。  
 ○コア業務純益は、前年同水準の30億円となりました。

※実質業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時費用分)

※コア業務純益＝業務粗利益(除く国債等債券損益)－経費(除く臨時費用分)

(4) 経常利益、中間純利益

- 経常利益は、ほぼ前年同水準の38億円。
- 中間純利益は、対前年同期比3億円減少の27億円。
  - ・ネット信用コストは、対前年同期比△0億円の1億円となりました。
  - ・株式等関係損益は、株式等売却益が増加したことを主因に、対前年同期比2億円増加の6億円となりました。
  - ・特別損益は、前年並みの△0億円となりました。
  - ・法人税等税金関連費用は、対前年同期比2億円増加の10億円となりました。
  - ・結果、中間純利益は、対前年同期比3億円減少の27億円となりました。

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
経常利益	38	38	△0
特別損益	△0	△0	0
うち固定資産処分損益	△0	△0	0
うち減損損失	0	0	△0
税引前中間純利益	38	38	△0
法人税等税金関連費用	10	7	2
中間純利益	27	31	△3

<信用コストの内訳>

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
一般貸倒引当金繰入額①	△2	△0	△1
不良債権処理額②	9	5	4
貸出金償却	3	2	0
個別貸倒引当金繰入額	3	1	2
延滞債権等売却損	—	0	△0
その他	2	1	1
貸倒償却引当費用①+②	6	4	2
貸倒引当金戻入益③	—	—	—
償却債権取立益④	4	2	2
偶発損失引当金戻入益⑤	—	0	△0
ネット信用コスト①+②-③-④-⑤	1	2	△0

<株式等関係損益>

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
株式等関係損益	6	4	2
株式等売却益	6	5	1
株式等売却損	—	0	△0
株式等償却	0	0	0

2. 預金等の状況

(1) 預金

○預金等残高は、対前年同期比758億円増加の2兆6,125億円となりました。  
 ○県内預金等残高は、対前年同期比717億円増加の2兆5,396億円となりました。

(単位:億円)

	2018年9月末	2017年9月末	増減
預金残高 ①	25,025	24,432	592
譲渡性預金残高 ②	1,100	935	165
預金等残高 (①+②)	26,125	25,367	758
うち県内預金等残高	25,396	24,678	717

(2) 預かり資産

○預金等残高と預かり資産残高合計は、預金等が堅調に推移したことから、対前年同期比746億円増加いたしました。今後も、お客さまのニーズにお応えするため、運用商品の品揃えを充実させてまいります。

(単位:億円)

	2018年9月末	2017年9月末	増減
預かり資産残高 ③	3,133	3,144	△ 11
投資信託	906	880	25
公共債	119	145	△ 26
保険	2,107	2,119	△ 11
預金等残高 ④	26,125	25,367	758
合計残高 (③+④)	29,259	28,512	746

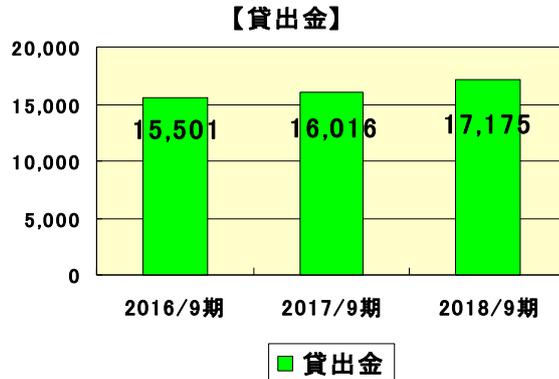
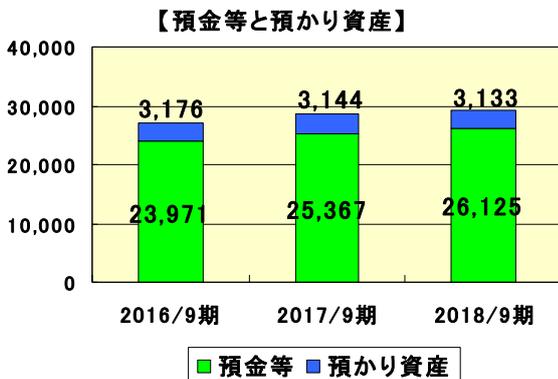
3. 貸出金の状況

(1) 貸出金

○貸出金残高は、対前年同期比1,159億円増加の1兆7,175億円となりました。  
 ○県内貸出金残高は対前年同期比598億円増加、県外貸出金残高は対前年同期比561億円増加となりました。  
 ○個人住宅ローン残高は、対前年同期比135億円増加の3,831億円となりました。

(単位:億円)

	2018年9月末	2017年9月末	増減
貸出金残高	17,175	16,016	1,159
うち県内貸出金残高	13,101	12,503	598
うち県外貸出金残高	4,073	3,512	561
うち個人住宅ローン残高	3,831	3,696	135



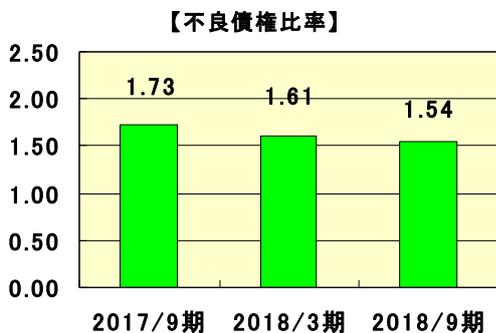
4. 不良債権の状況

○不良債権額は、対前年度末比8億円減少の275億円となり、不良債権比率も0.07%低下の1.54%となりました。  
 ○破産更生等債権は4億円増加したものの、危険債権は7億円減少、要管理債権は5億円減少いたしました。

<金融再生法開示債権>

(単位:億円)

	2018年9月末	2018年3月末	増減
破産更生等債権	46	42	4
危険債権	212	219	△7
要管理債権	16	21	△5
小計	275	284	△8
正常債権	17,609	17,353	256
債権額合計	17,885	17,638	247
不良債権比率	1.54%	1.61%	△0.07%



5. 連結決算の状況

○連結決算は当行及び連結子会社4社で構成されております。  
 ○単体決算同様に、経常利益は対前年同期比△0億円、親会社株主に帰属する中間純利益は対前年同期比△3億円となりました。4社全てにおいて中間純利益を計上すると共に純資産も十分な水準を確保しております。

<前年比較>

(単位:億円)

	2018年9月期	2017年9月期	増減
経常収益	222	222	0
経常利益	36	37	△0
親会社株主に帰属する中間純利益	25	28	△3

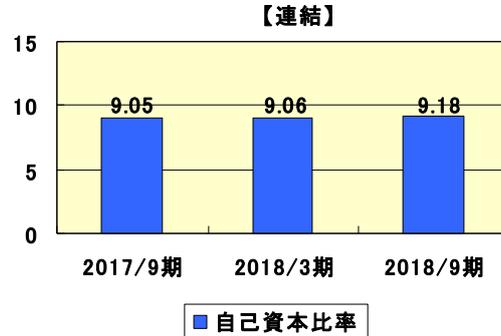
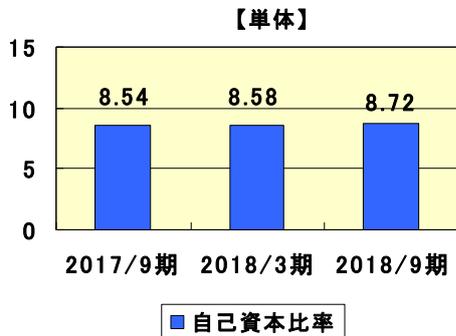
<連単倍率>

(単位:億円)

	連結	単体	連単倍率
経常収益	222	196	1.13倍
経常利益	36	38	0.95倍
親会社株主に帰属する中間純利益	25	27	0.90倍

6. 自己資本比率（速報値、国内基準）

- 単体自己資本比率8.72%、連結自己資本比率9.18%  
 早期是正措置の発動基準である4%を十分上回る水準を確保しております。
- リスクアセットの計算に際し、信用リスクは「標準的手法」を、オペレーショナル・リスクは「基礎的手法」を採用しております。



7. 2018年度業績予想

- 単体  
 経常利益は17億円減益の81億円、当期純利益は31億円減益の40億円を見込んでおります。
- 連結  
 経常利益は16億円減益の81億円、親会社株主に帰属する当期純利益は31億円減益の37億円を見込んでおります。

【単体】

（単位：億円）

	2018年度予想	2017年度実績	増減
コア業務純益	63	72	△ 9
経常利益	81	98	△ 17
当期純利益	40	71	△ 31

【連結】

（単位：億円）

	2018年度予想	2017年度実績	増減
経常利益	81	97	△ 16
親会社株主に帰属する当期純利益	37	68	△ 31

※上記の業績予想の数値は、2018年10月1日に公表した第四北越フィナンシャルグループの通期連結業績予想（下記＜参考＞）において考慮していたFG全体のマイナスシナジー（統合費用・減損）等のうち、当行分を反映させたものとなっております。  
 なお、第四北越フィナンシャルグループの業績予想に変更はありません。

＜参考＞第四北越フィナンシャルグループ通期連結業績予想  
 （単位：億円）

	2018年度予想
経常利益	160
親会社株主に帰属する当期純利益	560

II 2018年度中間決算の概況

1. 損益状況

【単体】

(百万円)

		2018年9月期		2017年9月期
			2017年9月期比	
業務粗利益	1	14,502	△ 247	14,749
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	2	( 13,986 )	( △ 122 )	( 14,108 )
資金利益	3	( 12,071 )	( △ 804 )	( 12,875 )
役務取引等利益	4	1,412	36	1,376
その他業務利益	5	1,018	521	497
(うち国債等債券損益)	6	( 516 )	( △ 125 )	( 641 )
うち国内業務粗利益	7	13,389	△ 892	14,281
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	8	( 12,967 )	( △ 384 )	( 13,351 )
資金利益	9	11,086	△ 910	11,996
役務取引等利益	10	1,406	49	1,357
その他業務利益	11	895	△ 32	927
(うち国債等債券損益)	12	( 421 )	( △ 508 )	( 929 )
うち国際業務粗利益	13	1,113	645	468
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	14	( 1,018 )	( 261 )	( 757 )
資金利益	15	985	106	879
役務取引等利益	16	5	△ 14	19
その他業務利益	17	122	552	△ 430
(うち国債等債券損益)	18	( 95 )	( 383 )	( △ 288 )
経費(除く臨時処理分)	19	10,902	△ 124	11,026
人件費	20	6,057	△ 27	6,084
物件費	21	4,125	△ 45	4,170
税金	22	719	△ 52	771
実質業務純益	23	3,599	△ 124	3,723
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	24	( 3,083 )	( 1 )	( 3,082 )
①一般貸倒引当金繰入額	25	△ 260	△ 198	△ 62
業務純益	26	3,860	75	3,785
(除く国債等債券損益(5勘定戻))	27	( 3,343 )	( 199 )	( 3,144 )
臨時損益	28	△ 47	△ 146	99
②不良債権処理額	29	943	415	528
貸出金償却	30	316	77	239
個別貸倒引当金繰入額	31	364	206	158
延滞債権等売却損	32	—	△ 1	1
その他	33	262	134	128
(貸倒償却引当費用①+②)	34	( 682 )	( 217 )	( 465 )
貸倒引当金戻入益	35	—	—	—
偶発損失引当金戻入益	36	—	△ 12	12
償却債権取立益	37	487	271	216
株式等関係損益	38	665	243	422
株式等売却益	39	665	144	521
株式等売却損	40	—	△ 97	97
株式等償却	41	0	0	0
その他臨時損益	42	△ 257	△ 234	△ 23
経常利益	43	3,813	△ 72	3,885
特別損益	44	△ 8	15	△ 23
うち固定資産処分損益	45	△ 7	6	△ 13
うち減損損失	46	0	△ 10	10
税引前中間純利益	47	3,804	△ 57	3,861
法人税、住民税及び事業税	48	369	△ 163	532
法人税等調整額	49	637	460	177
中間純利益	50	2,796	△ 354	3,150
(参考)				
ネット信用コスト 25+29-35-36-37	51	195	△ 41	236

【連結】

<連結損益計算書ベース>

(百万円)

		2018年9月期		2017年9月期
			2017年9月期比	
連結粗利益	1	14,872	△ 270	15,142
資金利益	2	11,590	△ 856	12,446
役務取引等利益	3	2,066	67	1,999
その他業務利益	4	1,215	519	696
営業経費	5	11,739	117	11,622
貸倒償却引当費用	6	813	181	632
貸出金償却	7	347	56	291
個別貸倒引当金繰入額	8	462	240	222
一般貸倒引当金繰入額	9	△ 258	△ 246	△ 12
延滞債権等売却損	10	—	△ 1	1
その他	11	262	134	128
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—
償却債権取立益	13	487	271	216
株式等関係損益	14	665	243	422
その他	15	182	△ 28	210
経常利益	16	3,655	△ 82	3,737
特別損益	17	△ 8	15	△ 23
税金等調整前中間純利益	18	3,647	△ 66	3,713
法人税、住民税及び事業税	19	508	△ 175	683
法人税等調整額	20	614	478	136
中間純利益	21	2,524	△ 370	2,894
非支配株主に帰属する中間純利益	22	3	△ 1	4
親会社株主に帰属する中間純利益	23	2,521	△ 368	2,889

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - (資金調達費用 - 金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

(参考)

(百万円)

連結業務純益	24	3,745	88	3,657
--------	----	-------	----	-------

(注) 連結業務純益 = 単体業務純益 + 子会社業務純益 + 関連会社業務純益 × 持分 - 内部取引

(連結対象会社数)

(社)

連結子会社数	4	—	4
持分法適用会社数	—	—	—

2. 業務純益【単体】

(百万円)

		2018年9月期		2017年9月期
			2017年9月期比	
(1) 業務純益(一般貸倒引当金繰入前)		3,599	△ 124	3,723
職員一人当たり(千円)		2,475	△ 59	2,534
(2) コア業務純益		3,083	1	3,082
職員一人当たり(千円)		2,120	22	2,098
(3) 業務純益		3,860	75	3,785
職員一人当たり(千円)		2,655	78	2,577

※計算の基礎となる職員数は期中平均人員(出向者を除く)で計算しております。

3. 預金等、貸出金残高【単体】

海外店は有しておりませんので、国内店のみの計数であります。

①末残

(百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比		2017年9月末比		2018年3月末	2017年9月末
		増減額	増減率	増減額	増減率		
預金等(預金+譲渡性預金)	2,612,592	40,463	1.57%	75,813	2.98%	2,572,129	2,536,779
新潟県内	2,539,605	33,790	1.34%	71,783	2.90%	2,505,815	2,467,822
新潟県外	72,986	6,673	10.06%	4,030	5.84%	66,313	68,956
貸出金	1,717,575	19,396	1.14%	115,970	7.24%	1,698,179	1,601,605
新潟県内	1,310,178	20,150	1.56%	59,820	4.78%	1,290,028	1,250,358
新潟県外	407,396	△755	△0.18%	56,149	15.98%	408,151	351,247

②平残

(百万円)

	2018年9月期	2018年3月期比		2017年9月期比		2018年3月期	2017年9月期
		増減額	増減率	増減額	増減率		
預金等(預金+譲渡性預金)	2,601,194	75,825	3.00%	77,915	3.08%	2,525,369	2,523,279
新潟県内	2,534,655	75,325	3.06%	77,373	3.14%	2,459,330	2,457,282
新潟県外	66,538	500	0.75%	541	0.81%	66,038	65,997
貸出金	1,700,493	116,200	7.33%	161,675	10.50%	1,584,293	1,538,818
新潟県内	1,291,839	50,106	4.03%	69,110	5.65%	1,241,733	1,222,729
新潟県外	408,654	66,095	19.29%	92,565	29.28%	342,559	316,089

4. 投資信託・公共債等預かり資産残高

(百万円)

	2018年9月末	2018年		2018年3月末	2017年9月末
		3月末比	9月末比		
投資信託	90,634	2,176	2,599	88,458	88,035
公共債	11,921	△820	△2,603	12,741	14,524
保険	210,780	3,114	△1,144	207,666	211,924

5. 利鞘【単体】

(1) 全店分

(%)

		2018年9月期	2017年	2017年9月期	
			9月期比		
資金運用利回	①	0.93	△0.10	1.03	
貸出金利回	②	1.00	△0.12	1.12	
有価証券利回	③	1.03	△0.06	1.09	
資金調達利回	④	0.05	△0.01	0.06	
預金等利回	⑤	0.01	△0.01	0.02	
外部負債利回	⑥	0.53	0.18	0.35	
預金等原価	⑦	0.85	△0.04	0.89	
経費率	⑧	0.83	△0.04	0.87	
資金調達原価	⑨	0.85	△0.05	0.90	
利鞘	預貸金レート差	②-⑤	0.99	△0.11	1.10
	運用・調達レート差	①-④	0.88	△0.09	0.97
	預貸金利鞘	②-⑦	0.15	△0.08	0.23
	総資金利鞘	①-⑨	0.08	△0.05	0.13

(2) 国内業務部門分

(%)

		2018年9月期	2017年 9月期比	2017年9月期
資金運用利回	①	0.86	△ 0.13	0.99
貸出金利回	②	0.99	△ 0.13	1.12
有価証券利回	③	0.91	△ 0.15	1.06
資金調達利回	④	0.02	△ 0.03	0.05
預金等利回	⑤	0.01	△ 0.01	0.02
外部負債利回	⑥	0.00	0.03	△ 0.03
預金等原価	⑦	0.84	△ 0.04	0.88
経費率	⑧	0.82	△ 0.03	0.85
資金調達原価	⑨	0.84	△ 0.06	0.90
利 鞘	預貸金レート差	②-⑤	0.98	△ 0.12
	運用・調達レート差	①-④	0.84	△ 0.10
	預貸金利鞘	②-⑦	0.15	△ 0.08
	総資金利鞘	①-⑨	0.02	△ 0.07

6. 有価証券【単体】

(1) 損益

(百万円)

		2018年9月期	2017年 9月期比	2017年9月期
国債等債券損益(5勘定戻)		516	△ 125	641
売却益		1,116	△ 400	1,516
償還益		—	—	—
売却損		294	△ 331	625
償還損		305	56	249
償却		—	—	—
株式等損益(3勘定戻)		665	243	422
売却益		665	144	521
売却損		—	△ 97	97
償却		0	0	0

(2) 有価証券の評価損益

① 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

② 評価損益

(百万円)

【連結】	2018年9月末				2018年3月末		
	評価損益				評価損益		
		前期末比	評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	20,934	△5,900	27,156	6,222	26,834	32,017	5,182
株式	17,022	△1,607	17,366	343	18,629	18,850	221
債券	4,859	△4,581	6,381	1,521	9,440	9,764	324
その他	△948	287	3,408	4,356	△1,235	3,402	4,637
うち外国債券	365	△377	1,291	926	742	1,109	367
合計	20,934	△5,900	27,156	6,222	26,834	32,017	5,182
株式	17,022	△1,607	17,366	343	18,629	18,850	221
債券	4,859	△4,581	6,381	1,521	9,440	9,764	324
その他	△948	287	3,408	4,356	△1,235	3,402	4,637

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。
2. 2018年9月末の「その他有価証券」に係る評価差額金は、14,716百万円、2018年3月末の「その他有価証券」に係る評価差額金は、18,725百万円であります。

(百万円)

【単体】	2018年9月末				2018年3月末		
	評価損益				評価損益		
		前期末比	評価益	評価損		評価益	評価損
満期保有目的	—	—	—	—	—	—	—
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	20,126	△5,758	26,348	6,222	25,884	31,067	5,182
株式	16,214	△1,465	16,558	343	17,679	17,901	221
債券	4,859	△4,581	6,381	1,521	9,440	9,764	324
その他	△948	287	3,408	4,356	△1,235	3,402	4,637
うち外国債券	365	△377	1,291	926	742	1,109	367
合計	20,126	△5,758	26,348	6,222	25,884	31,067	5,182
株式	16,214	△1,465	16,558	343	17,679	17,901	221
債券	4,859	△4,581	6,381	1,521	9,440	9,764	324
その他	△948	287	3,408	4,356	△1,235	3,402	4,637

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、上記の表上は、貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。
2. 2018年9月末の「その他有価証券」に係る評価差額金は、14,234百万円、2018年3月末の「その他有価証券」に係る評価差額金は、18,248百万円であります。

7. 自己資本比率

自己資本比率は、国内基準を適用しております。

【連結】

(百万円)

	2018年9月末(速報値)		2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
	2018年 3月末比	2017年 9月末比			
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	9.18%	0.12%	0.13%	9.06%	9.05%
(2) 自己資本 ①－②	101,642	1,523	3,059	100,119	98,583
コア資本に係る基礎項目 ①	104,373	1,729	4,130	102,644	100,243
コア資本に係る調整項目 ②	2,730	205	1,070	2,525	1,660
(3) リスクアセット(注)	1,107,113	2,527	18,050	1,104,586	1,089,063

(注)信用リスク・アセットの額及びオペレーショナル・リスク相当額に係る額の合計であります。

なお、信用リスク・アセットは「標準的手法」を、オペレーショナル・リスクは「基礎的手法」を採用し算出しております。

【単体】

(百万円)

	2018年9月末(速報値)		2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
	2018年 3月末比	2017年 9月末比			
(1) 自己資本比率 (2)／(3)	8.72%	0.14%	0.18%	8.58%	8.54%
(2) 自己資本 ①－②	95,975	1,787	3,539	94,188	92,436
コア資本に係る基礎項目 ①	99,904	1,805	4,632	98,099	95,272
コア資本に係る調整項目 ②	3,928	18	1,093	3,910	2,835
(3) リスクアセット(注)	1,100,054	2,654	17,703	1,097,400	1,082,351

(注)信用リスク・アセットの額及びオペレーショナル・リスク相当額に係る額の合計であります。

なお、信用リスク・アセットは「標準的手法」を、オペレーショナル・リスクは「基礎的手法」を採用し算出しております。

8. ROE【単体】

(%)

	2018年9月期		2017年9月期
	2017年9月期比	2017年9月期比	
コア業務純益ベース	5.34	△ 0.11	5.45
業務純益ベース	6.69	0.00	6.69
経常利益ベース	6.60	△ 0.27	6.87
中間純利益ベース	4.84	△ 0.73	5.57

(注)「純資産の部」の期首と期末の平均残高(除く新株予約権)により算出しております。

### Ⅲ 貸出金等の状況

- ・部分直接償却を実施しております。
- ・未収利息不計上基準  
破綻先・実質破綻先・破綻懸念先の未収利息は、すべて収益不計上としております。

#### 1. 金融再生法開示債権【単体】

(百万円)

	2018年9月末		2018年3月末	2017年9月末
	2018年 3月末比	2017年 9月末比		
破産更生等債権	4,694	403	406	4,291
破綻先債権	307	△126	△160	433
実質破綻先債権	4,387	530	566	3,857
危険債権	21,243	△755	△1,675	21,998
要管理債権	1,658	△506	167	2,164
小計	27,595	△859	△1,104	28,454
正常債権	1,760,971	25,624	132,475	1,735,347
債権額合計	1,788,567	24,765	131,372	1,763,802

#### ○債権総額に占める割合

(%)

	2018年9月末		2018年3月末	2017年9月末
	2018年 3月末比	2017年 9月末比		
破産更生等債権	0.26	0.02	0.01	0.24
破綻先債権	0.01	△ 0.01	△ 0.01	0.02
実質破綻先債権	0.24	0.03	0.01	0.21
危険債権	1.18	△ 0.06	△ 0.20	1.24
要管理債権	0.09	△ 0.03	0.00	0.12
小計	1.54	△ 0.07	△ 0.19	1.61
正常債権	98.45	0.07	0.19	98.38
債権額合計	100.00			100.00

#### ○金融再生法開示債権の保全状況

(百万円)

	2018年9月末		2018年3月末	2017年9月末
	2018年 3月末比	2017年 9月末比		
保全額(A)	24,625	△45	△660	24,670
貸倒引当金	2,772	103	△147	2,669
担保保証等	21,853	△147	△512	22,000
債権額合計(B)	27,595	△859	△1,104	28,454
保全率(A)÷(B)	89.23%	2.53%	1.13%	86.70%

2. リスク管理債権

(1) リスク管理債権の状況

①【単体】

(百万円)

	2018年9月末		2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比			
破綻先債権額	297	△134	△170	431	467
延滞債権額	25,452	△274	△1,222	25,726	26,674
3ヵ月以上延滞債権額	116	△85	△46	201	162
貸出条件緩和債権額	1,542	△421	213	1,963	1,329
計	27,408	△914	△1,225	28,322	28,633
(部分直接償却額)	(2,844)	(△1,113)	(△2,860)	(3,957)	(5,704)
【参考】貸出金残高(末残)	1,717,575	19,396	115,970	1,698,179	1,601,605

○貸出金残高に占める割合

(%)

	2018年9月末		2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比			
破綻先債権額	0.01	△ 0.01	△ 0.01	0.02	0.02
延滞債権額	1.48	△ 0.03	△ 0.18	1.51	1.66
3ヵ月以上延滞債権額	0.00	△ 0.01	△ 0.01	0.01	0.01
貸出条件緩和債権額	0.08	△ 0.03	0.00	0.11	0.08
計	1.59	△ 0.07	△ 0.19	1.66	1.78

②【連結】

(百万円)

	2018年9月末		2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比			
破綻先債権額	331	△139	△168	470	499
延滞債権額	25,544	△305	△1,265	25,849	26,809
3ヵ月以上延滞債権額	117	△88	△48	205	165
貸出条件緩和債権額	1,856	△386	230	2,242	1,626
計	27,850	△917	△1,250	28,767	29,100
(部分直接償却額)	(3,080)	(△1,085)	(△2,854)	(4,165)	(5,934)
【参考】貸出金残高(末残)	1,707,285	18,722	115,411	1,688,563	1,591,874

○貸出金残高に占める割合

(%)

	2018年9月末		2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比			
破綻先債権額	0.01	△ 0.01	△ 0.02	0.02	0.03
延滞債権額	1.49	△ 0.04	△ 0.19	1.53	1.68
3ヵ月以上延滞債権額	0.00	△ 0.01	△ 0.01	0.01	0.01
貸出条件緩和債権額	0.10	△ 0.03	0.00	0.13	0.10
計	1.63	△ 0.07	△ 0.19	1.70	1.82

3. 貸倒引当金の状況

(1) 単体

(百万円)

	2018年9月末		2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比			
貸倒引当金	4,390	△ 97	△ 692	4,487	5,082
一般貸倒引当金	1,737	△ 261	△ 505	1,998	2,242
個別貸倒引当金	2,653	164	△ 186	2,489	2,839

(注)特定海外債権引当金は、該当ありません。

(2) 連結

(百万円)

	2018年9月末		2017年 9月末比	2018年3月末	2017年9月末
		2018年 3月末比			
貸倒引当金	5,551	△ 23	△ 659	5,574	6,210
一般貸倒引当金	2,040	△ 259	△ 534	2,299	2,574
個別貸倒引当金	3,511	236	△ 124	3,275	3,635

(注)特定海外債権引当金は、該当ありません。

4. 自己査定済の状況【単体】

(百万円)

債務者区分		分類状況(部分直接償却実施後)				
		債権残高	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類
破綻先		307	1,410 (961)	3,283	— (449)	— (—)
実質破綻先		4,387				
破綻懸念先		21,243	13,215 (11,011)	5,805	2,222 (4,426)	
要 注 意 先	要管理先	2,455	769	1,685		
	その他の要注意先	102,862	36,865	65,996		
正常先		1,657,312	1,657,312			
合 計		1,788,567	1,709,574	76,770	2,222	—

(注)( )内は引当金の分類金額。

5. 自己査定・保全の状況と開示債権【単体】

(単位:億円)

		自己査定と保全の状況				金融再生法開示債権		リスク管理債権	
		残高	保全額	引当金	保全率	区分	残高	区分	残高
破綻先		3	42	4	100.0%	破産更生等 債権	46	破綻先債権	2
実質破綻先		43						延滞債権	254
破綻懸念先		212	168	22	89.5%	危険債権	212		
要 注 意 先	〔うち 要管理 債権〕	(16)	(7)	(1)	(54.9%)	要管理債権	16	3カ月以上 延滞債権	1
								貸出条件 緩和債権	15
	要管理先	24	12	1	56.3%	小 計	275	合 計	274
	その他の 要注意先	1,028							
正常先		16,573				正常債権	17,609		
合 計		17,885				合 計	17,885		

6. 業種別貸出状況等【単体】

(1) 業種別貸出金

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	1,717,575	19,396	115,970	1,698,179	1,601,605
製造業	151,331	2,030	3,625	149,301	147,706
農業、林業	1,572	△ 28	△ 1	1,600	1,573
漁業	154	6	△ 1	148	155
鉱業、採石業、砂利採取業	992	△ 38	△ 395	1,030	1,387
建設業	72,035	261	△ 138	71,774	72,173
電気・ガス・熱供給・水道業	26,964	3,084	7,280	23,880	19,684
情報通信業	5,197	473	△ 38	4,724	5,235
運輸業、郵便業	46,091	△ 2,122	△ 3,607	48,213	49,698
卸売業、小売業	125,991	△ 495	△ 1,314	126,486	127,305
金融業、保険業	96,412	△ 13,431	5,952	109,843	90,460
不動産業、物品賃貸業	201,532	△ 4,520	180	206,052	201,352
各種サービス業	117,409	△ 2,900	△ 2,814	120,309	120,223
国・地方公共団体	458,360	27,091	93,397	431,269	364,963
その他	413,529	9,984	13,845	403,545	399,684
海外店分及び特別国際金融取引勘定分	—	—	—	—	—
合計	1,717,575	19,396	115,970	1,698,179	1,601,605

(2) 業種別リスク管理債権

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	27,408	△ 914	△ 1,225	28,322	28,633
製造業	6,867	△ 163	10	7,030	6,857
農業、林業	112	26	18	86	94
漁業	—	—	—	—	—
鉱業、採石業、砂利採取業	42	△ 4	△ 54	46	96
建設業	3,544	355	△ 149	3,189	3,693
電気・ガス・熱供給・水道業	—	—	—	—	—
情報通信業	209	6	103	203	106
運輸業、郵便業	662	177	4	485	658
卸売業、小売業	5,609	△ 831	△ 892	6,440	6,501
金融業、保険業	1	△ 1	△ 1	2	2
不動産業、物品賃貸業	1,975	△ 298	△ 539	2,273	2,514
各種サービス業	4,380	△ 250	140	4,630	4,240
国・地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	4,001	69	135	3,932	3,866
海外店分及び特別国際金融取引勘定分	—	—	—	—	—
合計	27,408	△ 914	△ 1,225	28,322	28,633

(3) 個人ローン残高

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比		
個人ローン残高	420,050	10,417	15,015	409,633	405,035
住宅ローン残高	383,181	9,490	13,522	373,691	369,659
その他ローン残高	36,868	926	1,492	35,942	35,376

(4) 中小企業等貸出

(百万円)

	2018年9月末			2018年3月末	2017年9月末
	2018年9月末	2018年3月末比	2017年9月末比		
中小企業等貸出残高	1,068,739	△ 3,571	13,945	1,072,310	1,054,794
中小企業等貸出比率	62.22%	△ 0.92%	△ 3.63%	63.14%	65.85%

#### IV 2018年度業績予想

##### 1. 単体

(単位:億円)

	2019年3月期予想	2018年3月期実績	差異
コア業務純益	63	72	△ 9
経常利益	81	98	△ 17
当期純利益	40	71	△ 31

##### 2. 連結

(単位:億円)

	2019年3月期予想	2018年3月期実績	差異
経常利益	81	97	△ 16
親会社株主に帰属する当期純利益	37	68	△ 31

※上記の業績予想の数値は、2018年10月1日に公表した第四北越フィナンシャルグループの通期連結業績予想(下記<参考>)において考慮していたFG全体のマイナスシナジー(統合費用・減損)等のうち、当行分を反映させたものとなっております。

なお、第四北越フィナンシャルグループの業績予想に変更はありません。

<参考> 第四北越フィナンシャルグループ通期連結業績予想

(単位:億円)

	2018年度予想
経常利益	160
親会社株主に帰属する当期純利益	560

V 第四北越フィナンシャルグループ 2行合算・連結業績予想  
 （第四銀行と北越銀行の2行単体計数の単純合算）

1. 損益状況【2行単体単純合算】

（百万円）

		2018年9月期		2017年9月期
			2017年9月期比	
業務粗利益	1	42,756	275	42,481
（コア業務粗利益）	2	（ 43,640 ）	（ 1,054 ）	（ 42,586 ）
資金利益	3	34,705	△ 1,057	35,762
役員取引等利益	4	7,183	989	6,194
その他業務利益	5	867	344	523
経費（除く臨時処理分）	6	31,328	△ 865	32,193
人件費	7	17,329	△ 296	17,625
物件費	8	12,119	△ 406	12,525
税金	9	1,878	△ 163	2,041
実質業務純益	10	11,426	1,138	10,288
（コア業務純益）	11	（ 12,310 ）	（ 1,917 ）	（ 10,393 ）
一般貸倒引当金繰入額	12	△ 246	△ 184	△ 62
業務純益	13	11,673	1,323	10,350
臨時損益	14	1,442	△ 2,583	4,025
不良債権処理額	15	1,504	394	1,110
貸倒引当金戻入益	16	—	△ 809	809
偶発損失引当金戻入益	17	55	7	48
償却債権取立益	18	683	△ 168	851
株式等関係損益	19	2,203	△ 717	2,920
その他臨時損益	20	4	△ 502	506
経常利益	21	13,116	△ 1,260	14,376
特別損益	22	△ 319	△ 275	△ 44
税引前中間純利益	23	12,795	△ 1,536	14,331
法人税、住民税及び事業税	24	2,406	△ 895	3,301
法人税等調整額	25	819	456	363
中間純利益	26	9,568	△ 1,096	10,664

2. 預金等、貸出金残高【2行単体単純合算】

①末残

(百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比		2018年3月末	2017年9月末
		2018年3月末比	2017年9月末比		
預金等(預金+譲渡性預金)	7,414,361	2,037	161,335	7,412,324	7,253,026
新潟県内	7,230,201	△16,621	170,070	7,246,822	7,060,131
新潟県外	184,159	18,659	△8,734	165,500	192,893
貸出金	5,022,772	78,423	238,221	4,944,349	4,784,551
新潟県内	3,709,940	58,471	143,512	3,651,469	3,566,428
新潟県外	1,312,830	19,950	94,707	1,292,880	1,218,123

②平残

(百万円)

	2018年9月期	2018年3月期比		2018年3月期	2017年9月期
		2018年3月期比	2017年9月期比		
預金等(預金+譲渡性預金)	7,412,688	195,131	187,613	7,217,557	7,225,075
新潟県内	7,240,862	196,445	190,954	7,044,417	7,049,908
新潟県外	171,824	△1,314	△3,342	173,138	175,166
貸出金	4,930,748	192,488	279,948	4,738,260	4,650,800
新潟県内	3,634,761	102,064	153,034	3,532,697	3,481,727
新潟県外	1,295,986	90,425	126,913	1,205,561	1,169,073

3. 投資信託・公共債等預かり資産残高【2行単体単純合算】

(百万円)

	2018年9月末	2018年3月末比		2018年3月末	2017年9月末
		2018年3月末比	2017年9月末比		
投資信託	216,849	6,728	15,230	210,121	201,619
公共債	124,267	△6,598	△14,736	130,865	139,003
保険	541,884	21,912	17,177	519,972	524,707

4. 有価証券の評価損益【2行単体単純合算】

(百万円)

	2018年9月末				2018年3月末		
	評価損益			評価損	評価損益		評価損
	前期末比	評価益	評価損		評価益	評価損	
満期保有目的	1,905	△510	1,913	8	2,415	2,416	0
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	90,548	△4,742	115,846	25,297	95,290	118,910	23,618
株式	77,741	△436	79,522	1,780	78,177	79,491	1,313
債券	13,265	△8,885	16,026	2,759	22,150	22,876	726
その他	△459	4,578	20,295	20,754	△5,037	16,541	21,579
うち外国債券	△4,823	12	1,864	6,688	△4,835	1,277	6,112
合計	92,454	△5,251	117,759	25,305	97,705	121,326	23,619
株式	77,741	△436	79,522	1,780	78,177	79,491	1,313
債券	15,171	△9,394	17,939	2,767	24,565	25,293	727
その他	△459	4,578	20,295	20,754	△5,037	16,541	21,579

5. 連結業績予想(第四北越フィナンシャルグループ)

(百万円)

	2018年度予想
経常利益	16,000
親会社株主に帰属する当期純利益	56,000

以上